

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市本能老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

【開所日及びサービス提供時間】 年中無休 午前9時30分～午後4時45分 ※延長サービス：午後4時45分～午後7時00分
【利用定員】 35名
【送迎実施地域】 京都市中京区（下立売通以南・西大路通以東・河原町通以西）、 上京区（下立売通以南・河原町通以西）、下京区（花屋町通以北・西大路通以東・ 河原町通以西）、右京区（西大路通以東）
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

【レクリエーション】 ・これまで本能デイサービスでは、全体的なレクリエーションではなく、小グループでのレクリエーションの実施や社会参加型機能訓練として、施設内では経験できない環境への適応力への支援として、在宅での社会参加や日常生活につながるための機能訓練を施設外で実施するなど、ご利用者が在宅での生活を継続できるための関わりを続けてきたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため、思うような活動ができなかった。人と人の接触も極力避ける必要があるため、必然的にレクリエーション活動を見直すこととなったが、その中でクラフト教室など新たな活動を実施しており、現在も日々新たなことを模索中である。
【運営日】 ・ご利用者のニーズに応え、日曜日、祝日、年末年始のサービス提供を行っている。
【介護技術・知識の向上】 ・全職員を対象に当施設で、権利擁護研修、介護技術や認知症などの研修を計画的に実施している。
【ご家族との連携】 ・これまで「ファミリー会」と称して、日頃の在宅介護の悩みや介護に関する勉強会などを定期的に実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することができなかったため、送迎時などにできる限り利用中の様子を伝えるようにするなどの対応を行った。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容
（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

【職員体制】 施設長1名、総務・介護部長1名、通所介護係長1名、生活相談員4名（兼職）、看護師2名、介護職員13名、管理栄養士1名、機能訓練指導員2名（兼職）
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業に事業を委託する場合は、以下の考え方に従って業者選定をしている。 委託への考え方 （1）業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。 （2）法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合 （3）業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合 また、備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用している。
--

5 施設の利用状況(施設稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 実利用者数(実績値)

10,195 人

(2) 稼働率(実績値)

79.8 %

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	104,133,755
利用料収入	9,641,265
委託料収入	
補助金収入	1,437,000
寄付金収入	
雑収入	100,739
その他	356,515
収入計	115,669,274

イ 令和2年度支出状況(単位:円)

人件費	73,895,329
事業費	10,993,433
委託費	5,931,154
小額修繕費	1,178,784
その他	29,613,561
支出計	121,612,261

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

毎年ご利用者・ご家族へのアンケート調査を実施している。アンケート結果は集計後、検討会議を開催し、ご利用者・ご家族へ検討結果を書面でお知らせしている。日頃の様子は、送迎の際に口頭でお伝えするとともに、お伺いしたことについては申し送り時に報告している。その他、ご利用者ごとに連絡ノートを作成し、ご家族との日頃の情報交換を密に行う事で、ご利用者の満足度を把握するように努めている。

(2) 利用者満足度把握の結果

結果については、適宜、利用者及びご家族へ返答すると共に、ケア内容やケアプラン等に活かしている。また、アンケート結果については、施設ホームページに掲載している。加えて、年1回、法人本部に結果を報告し、理事会・評議員会等へも必要に応じて報告されている。

(3) 意見等への主な対応状況

面談や電話などのお申し出の場合は、適宜対応し、一両日中に回答している。投書や文書等で申し出の場合は、実態調査を行った上で、調査結果を代表者会議で報告している。その後、各部署の会議などでも議題に挙げ、様々な職員が関わる機会を設けている。これらによるご入居者・ご家族のご意見を踏まえ、サービスの質の向上に向けて、法人・施設内研修の充実、法定基準以上の人員配置、居住環境の改善などに取り組んでいる。

7 その他特記事項

(1)

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、施設内外問わず、予定していた行事のほとんどが中止となった。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

- (1) いかなる障害があろうとも尊厳のある暮らしを支援するために、徹底した倫理教育・研修を行っている。どの職員も、誰に対しても丁寧な言葉遣いに対応できるように日頃から伝えることで、指定管理施設に相応しい運営管理ができていると評価する。
- (2) できる限り住み慣れた自宅で、楽しく、尊厳のある生活を送るための方法を模索してきた。その一環である「京都式えらべるデイサービス」は、自己選択と自己決定を基本に、自宅でも継続して実施できる楽しみの創出、機能訓練により、社会参加への喜びを提供することができた。
- (3) ショートステイとも連携し、共通利用者の情報を共有することにより、施設での生活と自宅での生活が乖離する状況を少しでも軽減し、在宅生活の継続の一翼を担うことができた。
- (4) 公設施設としての役割を踏まえ、積極的に地域福祉活動に参画してきた。